2021.11.3　現地説明会資料

馬場下遺跡発掘調査

下野薬師寺跡範囲内容確認調査

下野市では教育や観光など文化財の総合的な活用による
地域づくりを目指し、「東の飛鳥プロジェクト」を推進しています。

1.下野薬師寺について

下野薬師寺は7世紀末に地方豪族下毛野（しもつけ）氏の氏寺として創建され、奈良時代前半には東国唯一の国立寺院として、造下野薬師寺司（ぞうしもつけやくししし）による造営が行われました。

奈良時代中頃には、奈良の東大寺、大宰府の筑紫観世音寺（つくしかんぜおんじ）と共に僧の資格を得るための場である戒壇（かいだん）が設置され、東国仏教の中心寺院として隆盛を極めました。

平安時代の歴史書である『続日本後紀（しょくにほんこうき）』は、下野薬師寺の姿を「あたかも七大寺の如し」と伝えていますが、文献からはその実態を知ることができませんでした。

昭和41年から継続的に実施してきた41次に及ぶ発掘調査によって、塀跡の規模が東西250m以上・南北350m、回廊の規模が1辺105mの東国最大級の伽藍を誇る寺院であったことが明らかになっています。

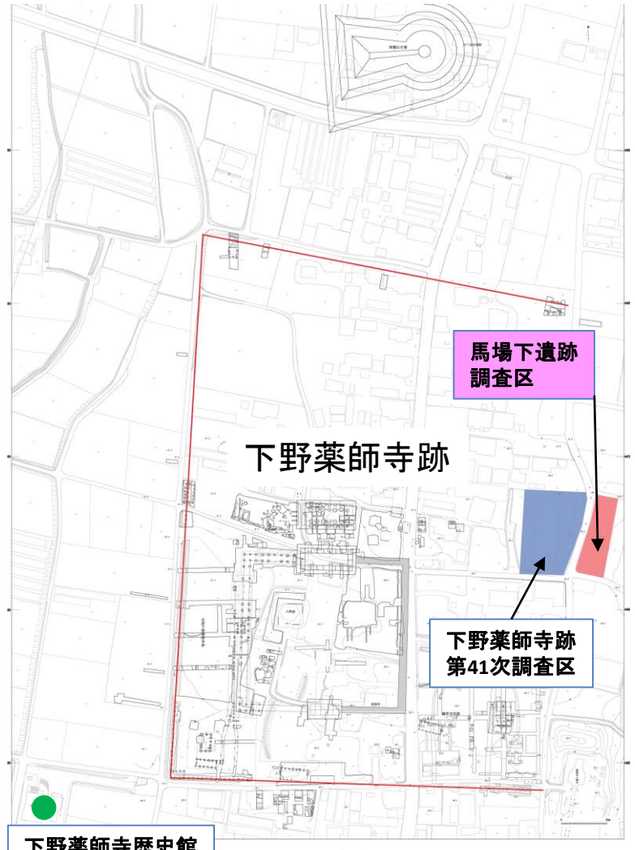
回廊の復原CG

2.馬場下遺跡について

馬場下遺跡は、史跡下野薬師寺跡の東側一帯に広がる下野薬師寺の関連遺跡です。

平成30年度に実施した下野薬師寺跡第41次調査によって、寺を取り囲む塀の東辺がこれまでの想定よりもさらに東に延びることがあきらかになりました。

このため令和3年9月から、下野薬師寺の東辺の塀の確認を目的として、馬場下遺跡の発掘調査を実施しました。



馬場下遺跡位置図

4.まとめ

今回の調査によって、5011建物・6003建物・6008建物が「コの字」状に規則的に配置されていることが明らかになりました。

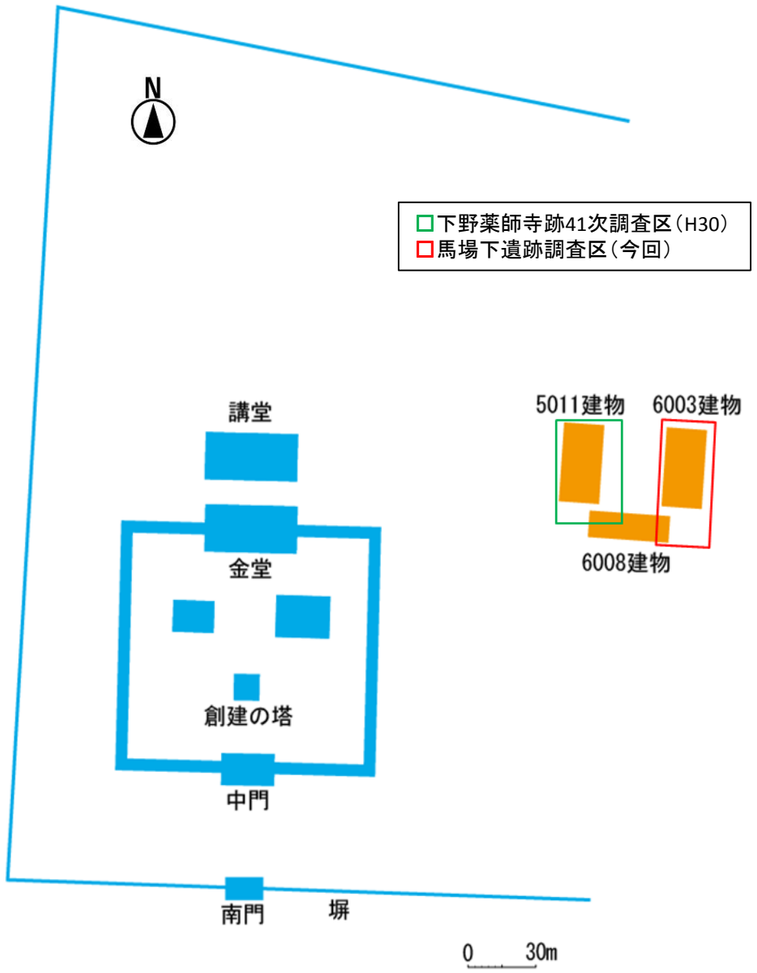
5011建物・6003建物の規模は、これまでに確認した金堂（東西約39m、南北約19m）に匹敵するもので、6008建物に相当する建物が北側にも存在した可能性が考えられます。

古代には重要な建物を瓦葺で建築していたことから、規則的に配置された3つの建物群は、寺の運営に関わる重要な施設であったと考えられます。

これらの建物の年代については不明ですが、下層の掘立柱建物の柱穴を丁寧に埋め戻してから基壇の造営を行っており、基壇の土の中に瓦が混入することから中心伽藍の整備がある程度整った段階で掘立柱建物から建替えられたことが推測できます。

古代の下野薬師寺の敷地の中には、宗教行事を行う主要伽藍を区画する回廊の他に、寺の運営の中枢機関である「政所院（まんどころいん）」や寺の造営を担う国家機関である「造寺司（ぞうじし）」、僧の受戒を担った「戒壇院（かいだんいん）」など、寺の運営に関するさまざまな機関が置かれました。今回確認した3つの建物群は、これらに該当する可能性が高いと考えられますが、確証を得ることはできませんでした。

今回調査によって、東側を寺の運営に関わる施設のエリアとして利用した可能性が浮上するなど、古代下野薬師寺の敷地内の利用形態を知る上で重要な成果を得ることができました。



下野薬師寺跡建物配置図

《参考》
下野薬師寺の造寺司に赴任した人物

・天平5年（733）　於伊美吉子首（うえのいみきこおびと）
・天平10年（738）　宗蔵（しゅうぞう）
・宝亀元年（770）　道鏡（どうきょう）

馬場下遺跡発掘調査現地説明会資料(2021.11.3)
編集・発行　下野市教育委員会文化財課
〒329-0492 栃木県下野市笹原26
TEL 0285-32-6105
E-mail bunkazai@city.shimotsuke.lg.jp

3.見つかった主な遺構

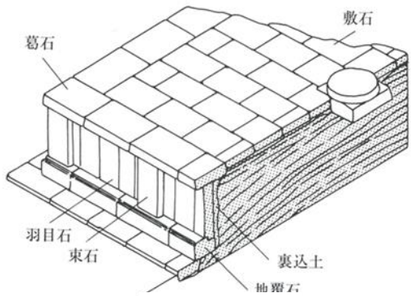
これまで未確定であった史跡下野薬師寺跡の東側の塀跡の確認を目的として、発掘調査を実施しました。

その結果、寺の運営に関わる施設と考えられる瓦葺の基壇建物（きだんたてもの）6008・6003を確認しました。

また、6003建物の下層から掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）6005・6004を確認しました。

①6008建物

東西7m以上、南北10mの基壇建物で、基壇の土の中に瓦（かわら）の破片を混入して造られています。下野薬師寺跡第41次調査の際に確認した5013建物と同一の建物である可能性が高いことがわかりました。東西34m・南北10mの東西に長い建物に復元可能です。



基壇模式図

②6003建物

東西16m以上、南北32mの基壇建物です。

平成30年度に実施した下野薬師寺跡第41次調査の際に確認した5011建物（東西18m・南北32m）と同規模の建物であることがわかりました。

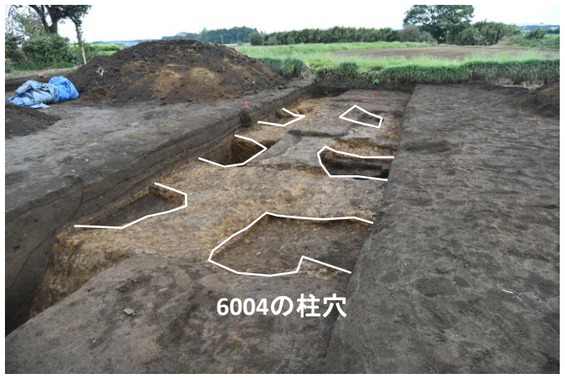
③6004・6005建物

6003建物の基壇の下層から見つかった、古い時期の掘立柱建物です。部分的な調査であるため建物規模は判明していません。

柱穴の土の中に瓦が混入することから、下野薬師寺の創建以降に造営され、その後、6003建物に建替られた可能性が高いことがわかりました。

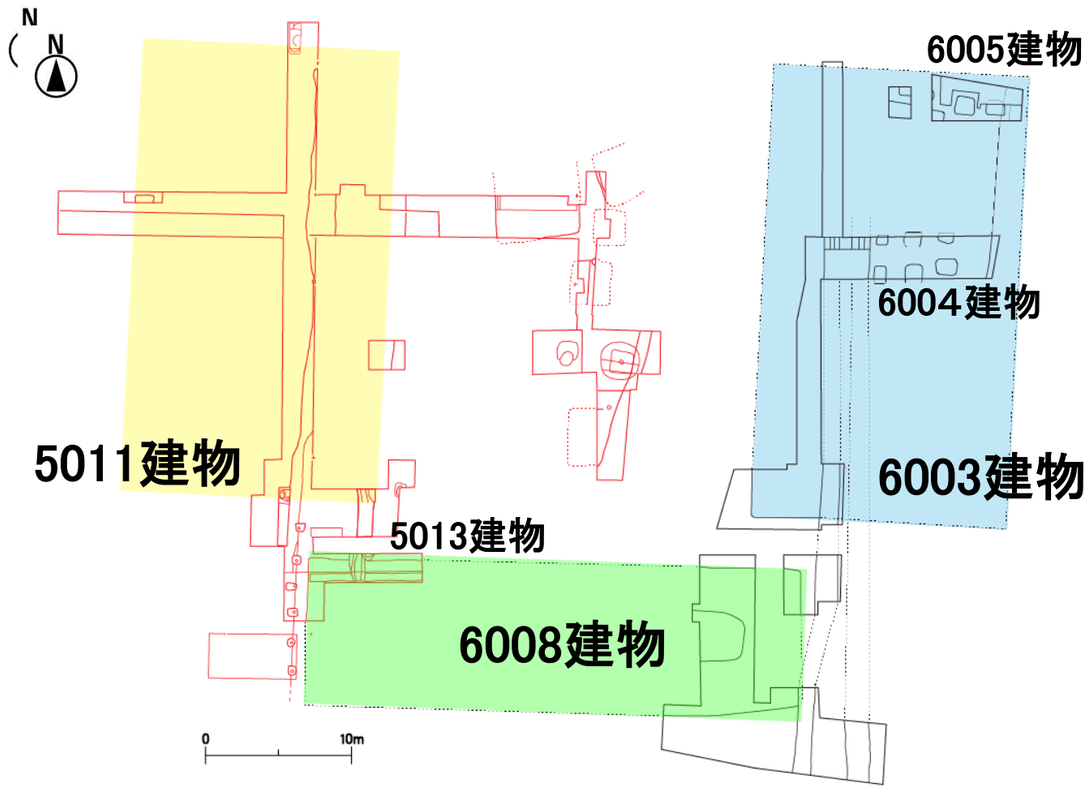
6008の土層（東から）

6003建物中央部（西から）



6004建物全景（西から）

6004建物の柱穴（南から）



馬場下遺跡遺構平面図　赤い線は下野薬師寺第41次調査で確認した主な遺構

馬場下遺跡航空写真（写真上が北）